

のみ認知症 あんしん帳

能美市認知症ガイドブック概要版



～ のみ認知症あんしん帳とは ～

認知症の進行に合わせて、いつどこでどのような医療や介護のサービスを利用できるかをお示しするものです。

相談窓口

●お住まいの地区の担当窓口 相談時間 午前8：30～午後5：15（土・日・祝日・年末年始を除く）

名 称	電話番号	住 所
根上あんしん相談センター	55-5626	大浜町ノ35番地1
寺井あんしん相談センター	58-6117	寺井町た8番地1
辰口あんしん相談センター	51-7771	緑が丘十一丁目49番地1

※但し、休日・時間外等の緊急時には電話転送にて対応

●能美市の担当窓口 相談時間 午前8：30～午後5：15（土・日・祝日・年末年始を除く）

名 称	電話番号	住 所
いきいき共生課	58-2233	来丸町1110番地

能美市

認知症初期集中支援チーム

認知症またはその疑いのある方やそのご家族を専門職のチーム員が訪問してお話を伺います。お話を元に、認知症サポート医とともに必要な支援を考え、認知症に関する情報の提供や医療機関の受診、介護保険サービス利用、これからの生活のための説明や助言をさせていただきます。期間は最大6か月間です。



高齢者のこころの相談

ご自宅で認知症の人と同居し、介護を行っているご家族や支援している専門職の悩み事や介護方法、本人の症状について専門医が専門的な相談を行い、これからの治療や介護方法・介護サービスの利用・かかりつけ医との連携を支援します。



認知症カフェ

認知症の方やそのご家族の方、認知症に関心のある方など、どなたでも参加できる憩いの場です。同じ立場同士で気持ちを打ち明け合い、学び、情報交換できる場となっています。



●能美市の認知症カフェ一覧

カフェ名（実施事業所・問い合わせ）	開催場所	開催日時
おれんじカフェ ☎55-6611（グループホーム金さん銀さん） ☎56-0011（メゾンスワニエ） ☎23-6200（グループホームゆうゆう能美）	根上学習センター （大成町又111番地）	毎月 第4金曜日 13時～14時30分
認知症よろづ相談所 ☎55-6611（グループホーム金さん銀さん） ☎56-0011（メゾンスワニエ） ☎23-6200（グループホームゆうゆう能美）	アルビス寺井店 （寺井町口90番地1）	毎月 第2木曜日 10時～11時頃
にんにん（認知）カフェ ☎55-6611（グループホーム金さん銀さん）	グループホーム金さん銀さん （西二口町丙27番地）	随時 （事前にご連絡をお願いします）
スワニエ・カフェ ☎56-0011（メゾンスワニエ）	ケアハウス メゾンスワニエ 〔ポニョール根上苑内〕 （下ノ江町イ207番地）	随時 （事前にご連絡をお願いします）
ゆうゆうカフェ ☎23-6200（グループホームゆうゆう能美）	グループホームゆうゆう能美 （山口町ハ52番地3）	随時 （事前にご連絡をお願いします）
花咲くカフェ ☎58-1662（たんぽぽ）	たんぽぽ （火釜町リ1番地8）	随時 （事前にご連絡をお願いします）
HAPPYカフェ ☎51-3123（ハッピーホーム）	ハッピーホーム （松が岡一丁目14番地）	隔月



市ホームページ

関連する資料 ※お近くの根上・寺井・辰口あんしん相談センター、いきいき共生課にお問い合わせください。

●能美市認知症ガイドブック



認知症の経過、予防、関わり方、権利擁護などの情報がイラスト入りで詳しく説明されています。

＜企画・編集＞
メモリーケア・ネットワーク能美

●高齢者福祉制度・介護サービス事業所等一覧



能美市の高齢者福祉サービスの種類や内容、介護サービスの種類や事業所の情報、相談窓口が紹介されています。

●介護保険



能美市の介護保険制度のしくみ、利用手続きの仕方、介護サービスの種類・費用、地域支援事業などが掲載されています。

●能美市の介護予防情報



体力をつける、交流の場などを目的に、地域で行われている教室や取り組みが紹介されています。

認知症とは

脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったため、認知機能（記憶したり、時間や場所が分かったり、物事を考えたりする働き）が低下し、日頃の生活で支障が起こる状態です。

主な認知症

アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が減っていく病気です。認知症の原因では最も多いと言われています。

主な症状

新しいことが覚えにくい。時間や場所がわからない。不安でうつうつとしている。

脳血管性認知症

脳梗塞・脳出血などにより、脳の神経細胞が一部分死んでしまう病気です。

主な症状

感情の起伏が激しい。意欲や注意力が低下し、複雑な作業が苦手。麻痺や失語が起こることがある。

レビー小体型認知症

脳の中にレビー小体という異常なたんぱく質がたまる病気と考えられています。

主な症状

手足のふるえやこわばり、動作がぎこちない。歩きにくい。幻視（実際にはないものが見える）を見る。

前頭側頭型認知症

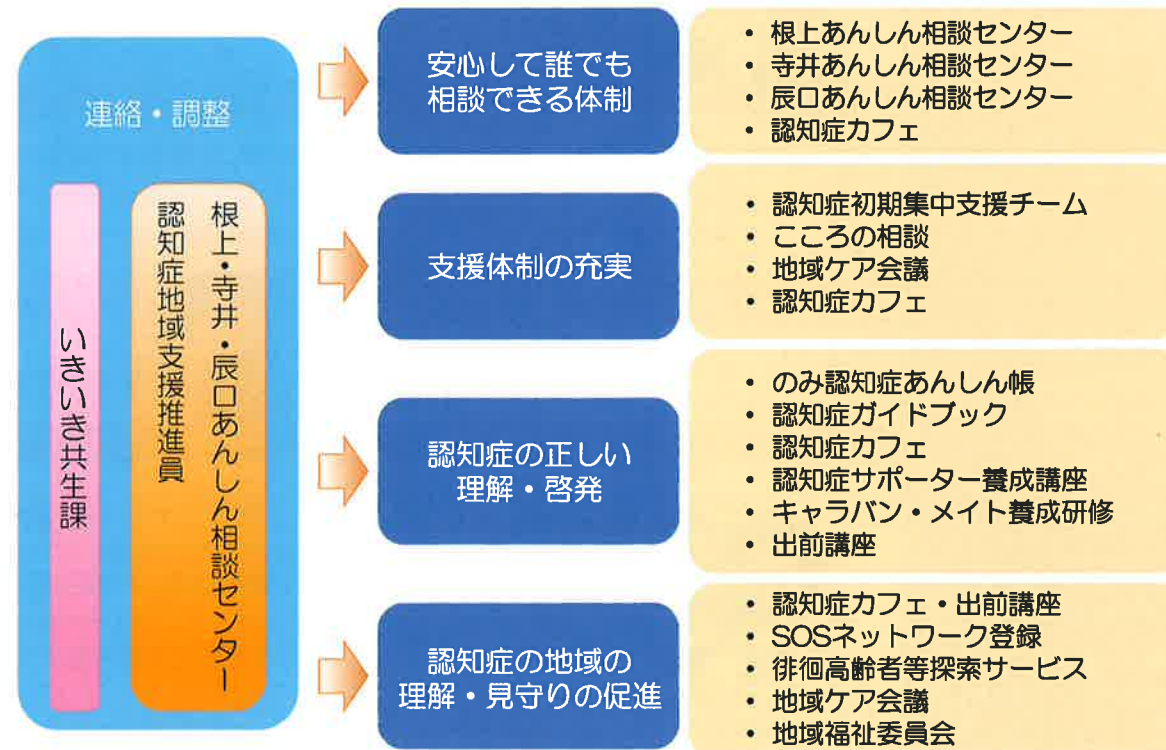
主に脳の前頭葉と側頭葉という部分が縮んでいく病気です。原因はよくわかっていません。

主な症状

他者やその場の状況、決まりに合わせられず、思ったまま勝手に行動する。毎日同じ行動を繰り返す。

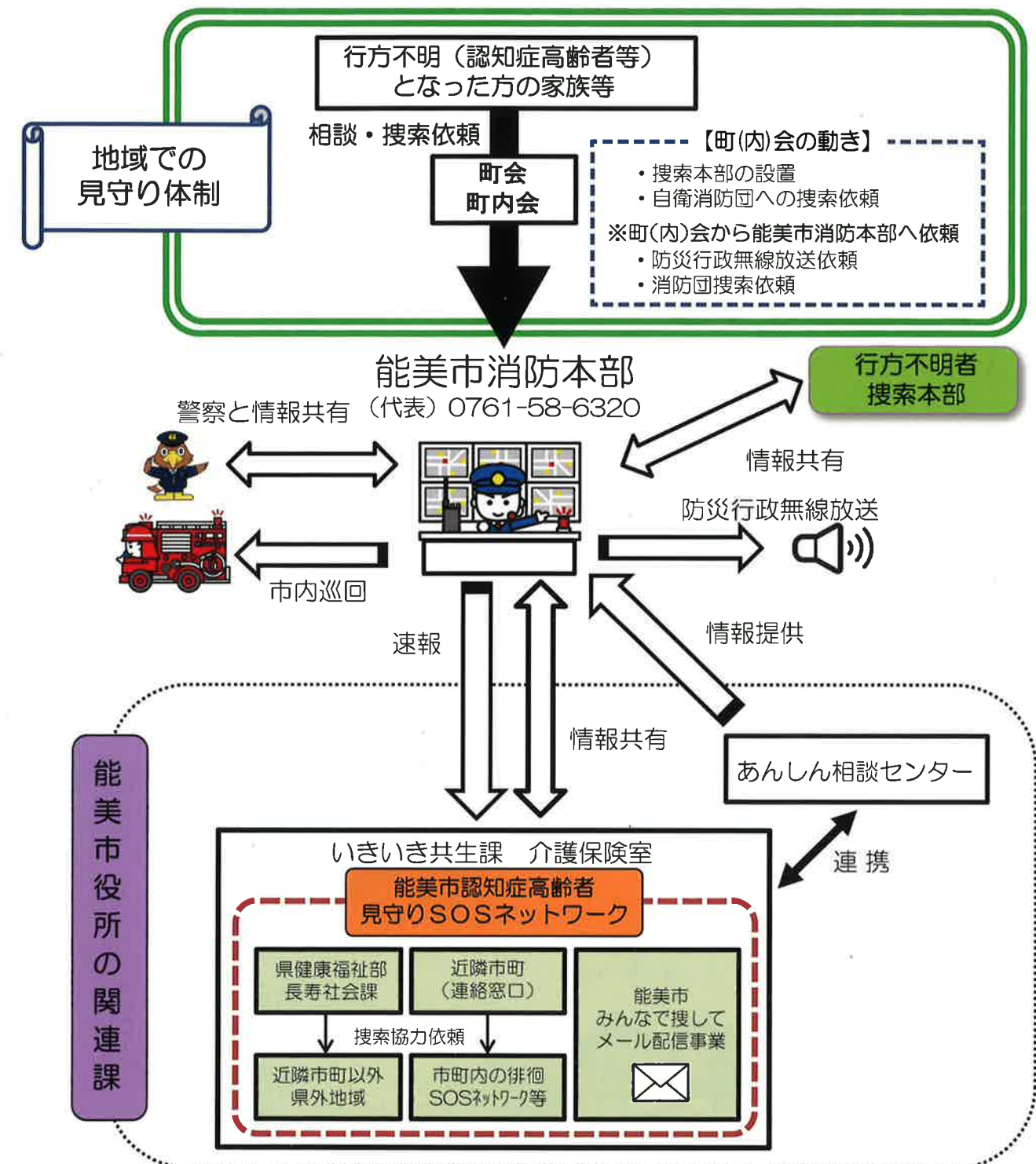
能美市の認知症支援の体制

～認知症になっても安心して暮らせるまち・のみ～



能美市では、根上・寺井・辰口あんしん相談センター、いきいき共生課とともに、介護サービス事業所、キャラバン・メイト、地域の関係団体が協力して「安心して誰でも相談できる体制」・「支援体制の充実」・「認知症の正しい理解・啓発」・「認知症の地域の理解・見守りの促進」に取り組み、「認知症になっても安心して暮らせるまち・のみ」づくりを進めています。

行方不明時の相談・捜索



行方不明時に対応したサービス

～相談窓口（表紙参照）へお気軽にご相談ください～

認知症高齢者見守りSOSネットワーク

いざというときネットワークに登録している協力機関へ電子メールで情報を提供し、地域ぐるみで捜索に協力する体制のことで、SOSネットワークの登録者は同時に生活総合保険（認知症あんしんプラン）に加入します。

徘徊高齢者等家族支援サービス事業

対象者が位置検索機器を携帯することにより、対象者の現在地が確認できます。機器業者のサービスセンターに電話で依頼したり、インターネットを利用して現在地を確認します。

【対象者】

- ・介護保険の認定が要支援1・2、要介護1～5の在宅高齢者
- ・在宅の知的障害者・児

【利用料】

- ・基本料金 月額50円（機器使用料）
- ・その他付属品（別途費用）



認知症の進行の経過と本人と家族がやっておきたいこと

認知症の原因となる疾患や健康状態、環境などにより、進行するスピードや症状の現れ方には個人差があります。必ずしも図のとおり経過するとは限りませんが、目安を知って参考にしてください。

認知症の進行	健康	軽度認知障害(MCI)	「軽度」の時期：発症		「中等度」の時期：介護の山場		「重度」の時期 寝たきり～終末期
			認知症の疑い	認知症を有するが日常生活はほぼ自立(I)	誰かの見守りがあれば日常生活は自立(II)	日常生活に手助けや介護が必要(III)	常に介護が必要(IV)
本人の様子		<ul style="list-style-type: none"> ●本人や家族から物忘れの訴えがある ●家事や仕事など日常生活動作は自立 ●全般的な認知機能は自立 ●認知症ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ●気になる物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活は自立している 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じ質問をくりかえす ●買い物や事務、金銭管理などにミスが見られる ●間違いを取りつくり、「私は忘れてなんかいない！」と否定する 	<ul style="list-style-type: none"> ●薬の管理が出来ない ●よく知っている場所で道に迷う ●身だしなみに気を配らなくなる ●何度も食事を食べようとする ●財布や通帳を盗られたと思う込む 	<ul style="list-style-type: none"> ●着替えや食事、トイレ等が一人でうまくできない ●場所や時間の見当がつかず当てもなく歩き回る ●家族の認識ができず、他の人と間違える ●物を拾い集める 	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ寝たきりで、身の回りのこと全般に介護が必要 ●言葉が減り、話しかけても理解が難しくなる ●飲み込みにくさから肺炎等を起こしやすい
本人の気持ち (個人差があります)		物忘れに最初に気づくのは本人。誰よりも不安で悔しい気持ち、苦しく悲しい思いをしている。物忘れを指摘されて、イライラしたり怒りっぽくなったり、落ち込んだりする	自分ができていないことがわからず、不安で自信がない。自分の気持ちが理解されない孤独感を感じている	自分ができていないことがわからず、不安で自信がない。自分の気持ちが理解されない孤独感を感じている	自分ができていないことがわからず、不安で自信がない。自分の気持ちが理解されない孤独感を感じている	自分ができていないことがわからず、不安で自信がない。自分の気持ちが理解されない孤独感を感じている	自分ができていないことがわからず、不安で自信がない。自分の気持ちが理解されない孤独感を感じている
家族の気持ち (個人差があります)		本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない	本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない	本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない	本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない	本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない	本人の状態の変化にとまどい、変化を受け入れられない
本人がやって おきたいこと		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう ・早寝早起き、規則正しい生活を送りましょう ・生活習慣病の予防、治療をしましょう ・お口の中を清潔に保ちましょう ・バランスの良い食事や十分な水分の摂取を心がけましょう ・アルコールは摂りすぎずタバコはやめましょう ・運動の習慣をつけましょう ・脳を活性化させましょう ・趣味やボランティア活動に積極的に参加しましょう ・元気なうちから終末期の希望を家族等にわかるようにしておきましょう ・かかりつけ医を持ちましょう ・運転免許返納後のことは事前に話し合っておきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんかおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・自分の役割ややりたいことは手伝ってもらいながら続けていきましょう ・医療や介護、その他の必要なサービスを受けて、自分らしく過ごしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんかおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・自分の役割ややりたいことは手伝ってもらいながら続けていきましょう ・医療や介護、その他の必要なサービスを受けて、自分らしく過ごしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんかおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・自分の役割ややりたいことは手伝ってもらいながら続けていきましょう ・医療や介護、その他の必要なサービスを受けて、自分らしく過ごしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんかおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・自分の役割ややりたいことは手伝ってもらいながら続けていきましょう ・医療や介護、その他の必要なサービスを受けて、自分らしく過ごしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんかおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・自分の役割ややりたいことは手伝ってもらいながら続けていきましょう ・医療や介護、その他の必要なサービスを受けて、自分らしく過ごしましょう
家族がやって おきたいこと		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう ・家庭での役割づくりや、地域の社会参加を促しましょう ・本人が元気なうちから終末期について話し合っておきましょう ・運転免許返納後のことは事前に話し合っておきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつもと違う、何かおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・認知症の人の接し方を学び対応できるようにしていきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつもと違う、何かおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・認知症の人の接し方を学び対応できるようにしていきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつもと違う、何かおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・認知症の人の接し方を学び対応できるようにしていきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつもと違う、何かおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・認知症の人の接し方を学び対応できるようにしていきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつもと違う、何かおかしい」と思ったら、最初にかかりつけ医やあんしん相談センターに相談しましょう ・認知症の人の接し方を学び対応できるようにしていきましょう